

守りたい命がある

消防職員募集中

消 坂戸・鶴ヶ島消防組合



消 防 隊

火災の現場に出場して消火活動を行います。

また、火災だけではなく交通事故現場等の危険物排除活動や、救急事故現場での救急隊と連携した活動なども行っています。



消防組合の様々な活動動画はこちらでご覧できます。



火災の現場に出場して消火活動

救 助 隊

火災、交通事故、水難事故等あらゆる災害現場に出場して救助活動を行います。

高度な知識と強靱な体力が必要とされる人命救助のスペシャリスト集団です。



災害現場に出場して救助活動



救 急 隊

救急現場に出場して傷病者に適切な観察と迅速な応急処置を施し、速やかに医療機関へ搬送します。救急車には救急救命士が同乗し高度な救急救命処置を行います。

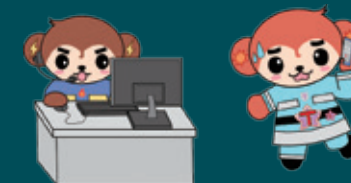


現場で適切な観察と迅速な応急処置

出場指令、無線統制災害情報の伝達

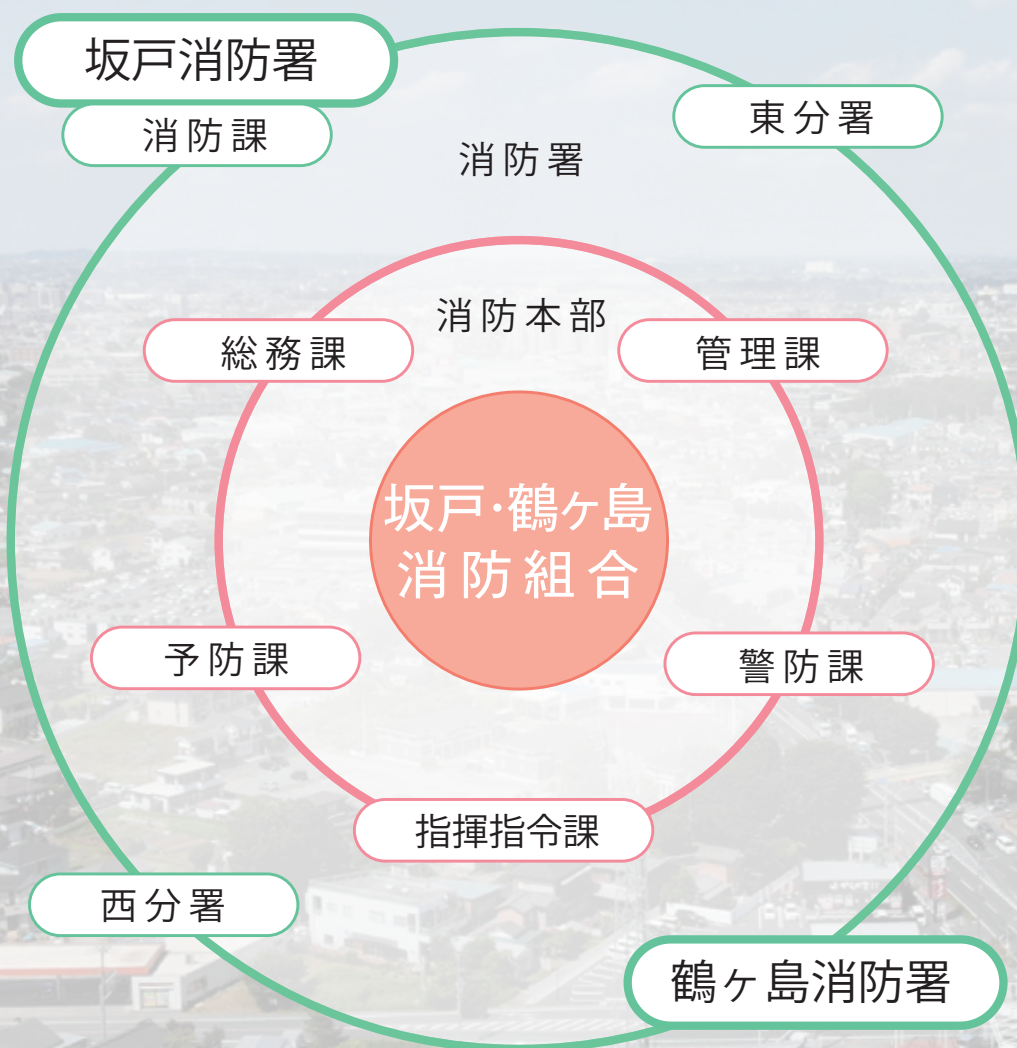
通信指令センター

管内で発生した火災・救急・救助等、すべての119番通報を受信し、災害に応じた部隊編成を行い出場指令、無線統制、災害情報の伝達などを行います。





坂戸・鶴ヶ島消防組合機構図



募集の概要

消防職員の勤務体系について

- ・毎日勤務 午前8時30分から午後5時15分まで、土日祝日が休みです。
- ・交代制勤務 午前8時30分から翌日午前8時30分まで、当番日、非番日、週休日で構成されています。
- ・1年間に20日の年次有給休暇が付与され、病気、結婚、忌引、出産等の休暇制度があります。

福利厚生について

- ・職員相互の共済及び福利の増進を図るため、職員互助会があり、共済給付（慶弔見舞等）、福利厚生事業各種部活動等を行っています。
- ・主な事業は、所属対抗ソフトボール大会、ボウリング大会などを行っています。

被服貸与について

- ・制服、活動服、防火衣など、執務において着用する被服等を貸与します。

研修について

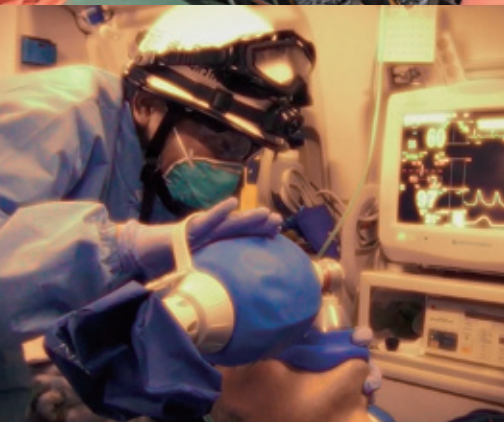
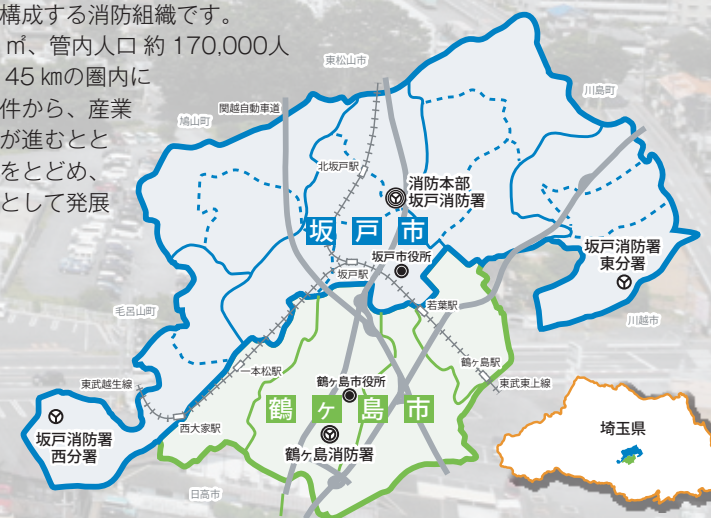
- ・新規採用職員は、埼玉県鴻巣市にある埼玉県消防学校に6か月間入校し、寮生活の中で消防職員としての基礎を身につけます。

消防職員募集案内

- ・別途配布する「坂戸・鶴ヶ島消防組合消防職員募集案内」を参照してください。
- ・募集案内は、坂戸・鶴ヶ島消防組合のホームページからダウンロードできます。

坂戸・鶴ヶ島消防組合管轄エリア

埼玉県のほぼ中央に位置し、坂戸市・鶴ヶ島市で構成する消防組織です。管轄面積は58.67k㎡、管内人口約170,000人。有し東京都心から45kmの圏内にあって、その立地条件から、産業経済の発展と都市化が進むとともに豊かな自然環境をとどめ、明るく住みよい都市として発展を続けています。



坂戸消防署 東分署 第1消防担当

沢田 直道



私は現在、消防士として採用され7年目になり、消防隊として活動しています。消防隊は火災現場の消火活動だけでなく、救急隊と連携した救急活動や、救助活動など様々な災害対応を行っています。

消防士になって一番やりがいを感じていることは、人の命に直接関われる仕事であり、私たちの活動によって救える命があるということです。しかし、人の命を救うということは簡単なことではなく、精神面や体力、知識が必要となるため、日々現場を想定した訓練や知識技術の向上に努めています。

消防士という仕事は自分のために行うものではないので、「人の役に立ちたい」と心から思う人に向いています。一緒に市民の生命、身体、財産を守っていきましょう。



消防本部 警防課救急担当

岡田 由美子



女性が働くことが自然の流れとなってきた現代において、消防の仕事には、女性が活躍できる部署がたくさんあります。消防隊・救急隊・予防業務や指令業務その他事務職などの部署で女性が働いています。

育児中の私は、現在、職場のサポートもあり、部分休業を取りながら勤務しています。個人の状況に対応してくれる柔軟な職場でとても働きやすく、仕事に集中できる環境が整っています。

私の仕事についての心得は、市民のために、女性だからこそできるきめ細かな仕事をしていくことです。これから先、一緒に働く女性の仲間がどんどん増えることを心待ちにして、市民ファーストで一生懸命仕事に全うしていこうと思います。ぜひ、私たちと一緒に働きませんか？



消防本部 総務課総務担当

大塚 愛子



「私も誰かの力になりたい」そう思い、消防士を志しました。採用後は消防隊に配属され現場活動を経験したのち、現在は消防本部総務課で主に人事や福利厚生など、職員が働きやすい環境を整える仕事をしています。

坂戸・鶴ヶ島消防組合は研修制度も充実しており、自分の努力次第で様々な可能性に挑戦することができます。男女問わず活躍できるところが当組合の魅力の一つです。

休日は趣味のサッカーをしたり、オンとオフのメリハリをもって生活することを心がけています。

消防士になって一番強く感じることは、人の命に係わる責任感と使命感、そこにやりがいを強く感じます。私はこの仕事を選んでよかったと心から思います。



坂戸消防署 第2救助担当

大澤 虎太郎



私は平成31年に採用され、現在は特別救助隊に所属しています。

消防士を志したきっかけは、幼い頃に、地元の川で埼玉県防災航空隊の方が救助活動をしている姿に感銘を受け、私も人の命を救いたい・困っている人に手を差し伸べたい。と強い憧れを持ち、「消防士」になることを決意しました。

現在配属されている特別救助隊としてのやりがいは、高度な資機材を駆使し、人命救助の最前線で活動できることです。多種多様な災害に対応できるよう日々訓練を欠かさず行い、より良い活動ができるように心掛けています。

これからも市民の安心・安全を守るために全力で取り組んでいきます。



坂戸消防署 西分署 第2消防担当

田邊 空



私は現在、消防隊の機関員として職務を遂行しています。機関員は、消防の最大の武器である「水」の力を最大限発揮するためのポンプ運用技術や、助けを求めている方々のもとへ迅速に向かうための運転技能等、多くのスキルが求められます。

これらの任務をプロとして遂行するためにも日々の訓練及び勉強に励んでいます。当組合は、15年目以下の職員が約50%、消防副士長以下の階級の職員が3分の1以上を締めています。

若年層が活躍できる場が沢山あると同時に、その上の世代の方々が築き上げてくださった伝統を継承する責任が私たちにはあります。そんな私たちと働きたいという強い意志を持った皆様にお会いできることを楽しみにしております。



鶴ヶ島消防署 第3予防担当

吉野 結衣



私は、消防署に入る前、自衛隊に3年間勤務しておりました。自衛隊では主に、災害時に救急車操縦手として現場へ向かい、看護師や救命士の方のサポートする仕事をしていました。

元々消防士になりたいという夢が高校生の時からありましたが、自衛隊で救命士の方と一緒に仕事をしていくうえで、救命士になりたいという気持ちが大きくなり、地元である慣れ親しんだ街で恩返しをしたいという思いで坂戸・鶴ヶ島消防組合を受験しました。

現在は消防隊として勤務しています。訓練をしていく中で体力の差を感じてしまう部分もありますが、女性消防士だからこそできる部分もあると感じます。是非坂戸・鶴ヶ島消防組合を受験してみてください。





坂戸・鶴ヶ島消防組合消防本部

〒350-0221 埼玉県坂戸市鎌倉町 16-16

TEL 049-281-3119 FAX 049-284-9900

<http://sakatsuru119.jp/recruit/index.html>